

令和7年度 高山市立丹生川小学校 学校経営全体構想

《学校課題・願い》

- * 安全な環境・安心できる居場所づくり
- * 自ら考え判断し、自分事として言動できる主体性
- * 自己肯定感の醸成
- * 基礎学力の確実な定着（教科担任制の導入）
- * 一人ひとりに寄り添う指導と多様性の尊重
- * いじめ・不登校の未然防止と対応
- * ふるさと丹生川に愛着と誇りがもてる児童の育成

《高山市小中学校教育の方針と重点》

<方針>

未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成

<重点>

持続可能な社会の創り手の育成

【授業・活動のキーワード】

主体的・対話的で深い学び ～対話から議論へ～

一人一人の「あこがれ」「やりがい」「できること」を踏まえ

学校教育目標

『心身ともにたくましく 進んで実践する子 ～ やさしい子 かんがえる子 やりぬく子 ～』

【目指す学校】 「明日も来たくなる学校」「力をつける学校」

【育てたい資質・能力】

仲間と関わり合い、試行錯誤しながら最後まであきらめずに挑戦する力

学習づくり

学ぶ楽しさやできた・分かったを味わえる授業の創造

- 「主体的・対話的で深い学び」を生み出す授業改善 [R6授業が楽しい 57.8%(87.2%)]
- ・主体的に学びに向かう力の育成（自己選択、自己決定、自己調整）
- ・教師の「教えたい」を児童の「学びたい」にコーディネートする力の向上（一斉授業からの脱却：対話から議論へ）
- ・プレゼン教育→アウトプットする場面の工夫
- ・校内研修の充実（毎週水曜・研修主事）
- 確かな学力定着→ICT教育（NEW！GIFUウェブラーニング利活用）、教科担任制、小中兼務による授業
- 授業における生徒指導を大切にする「自分らしさが出せる」「共感的な人間関係の育成」「安全な環境・安心な居場所づくり」
- 特別支援教育と校内支援センターの体制づくり

主体性

・問題解決する力の育成
・自己選択・自己決定の場

生活づくり

安全・安心を基盤とし、どの子にも居場所がある学校

- いじめを許さない風土づくり・不登校の未然防止[R6学校が楽しい 60.8%(88.9%)]
- ウェルビーイング(幸せ・生きがい)の向上
 - ・人を思う心を育てる人間関係づくりの推進（人の痛みや思いに共感できる豊かな人間性・人権感覚の育成、教育相談の充実、心のケア、SOS の出し方、マイサポーターとの連携）
 - ・問題を解決する力を育成する指導と場の設定
- 魅力あるワクワクする活動を創造する直接体験、縦割り活動・保小中交流の充実
- 「なりたい自分」の実現
 - ・振り返り→再挑戦→実現（見届けと評価家庭との共通理解）
- 情報機器のモラル指導・依存防止・家庭とともにやる眠育指導
- 命の教育（自分の命を自分で守る力）

★系統性を踏まえた「総合的な学習の時間」「生活科」の充実により、たくましさと郷土愛を育み、丹生川への誇りとよさを実感し、地域に貢献できる力を培う

★地域とともにある学校＝家庭・PTA・地域との連携指導

「学校運営協議会」「すくなく子教育連携会議」「まち協」「支所会議」「保小中連携」

◎小中連携：願いや課題、具体的指導の共有（管理職会・担当者会・合同全校研 等の開催）